

令和元年 清掃作業従事者研修会

報告

清掃作業監督者 田口 綾子



熱心に研修する参加者

元号が令和になり、令和最初の清掃事業者研修会が、6月1日に37名が参加し、北海道母子福祉センターにて行われました。

今年3月にベテラン監督者が退職され、監督者が二人、指導者として一人加わり、3名で研修プログラムの作成に当たりました。通常の業務に加えての資料作り、役割分担など打ち合わせは慌ただしいものでした。ここ数年の研修会で定着してきた「ヒヤリ・ハット」報告では、他の従業者のインシデ

ント発表を聞くことにより注意力が強まります。会を重ねる毎に各自の意識が高くなり、事故・怪物の防止に役立つと感じた研修会でした。

グループディスカッションでは、毎年多くの質問や要望が出ます。今年は新人が6名も入りましたので、新人の疑問点の発言や中堅人の意見も多く、熱い議論になりました。我々ベテランにとって、基本作業の再確認の目になります。また、中堅人の意見は指導の手引きにもなります。監督者としてまだまだ未熟であり、毎回研修会では、指導することにより学ぶことが多く、私にとって有意義な時間です。

今回の研修会での反省すべき点は、指導者同士の意見の協調が出来ていなかったことです。折角、多くの質問や要望が出されたのに、適切な助言や提案が出来ませんでした。反省すべき点は、来年度の研修会で同じことを繰り返さないように、話し合いの場を増やし、指導者同士で協調していきたいと思います。

自動販売機が設置されました。

道母連本部に待望の自動販売機が道庁本庁舎1階に4月から設置されました。

平成30年度の知事と道議会要望に「自動販売機の設置に際しての配慮について」と要望しましたところ、道保健福祉部・総務部・議会の先生たちのご尽力で1台設置されました。

1階は「人の出入りも多く売り上げは大きいよ」と言われています。これはひとり親家庭のために還元できるのではないかと役員一同関心を持っているところです。どうぞ道庁の近くを通りましたら道庁1階に写真のように目立つ自動販売機がありますので売り上げにご協力お願いします。



この自動販売機の売上金の一部は、給付型奨学金の支給など北海道のひとり親家庭の子どもの支援に使われます。



実践しながら指導する田口監督者



研修プログラム作成・実践の監督者3人



グループに分かれ意見交換



グループ代表の発表

